



出向取消の成果を確認！ 春闘を職場から闘うぞ！

第27回定期地本委員会開催

『ベア 6,000 円獲得！定昇 6,000 円獲得！夏季手当 3.5 か月満額獲得！JR東海に働くすべての労働者の労働条件向上を目指し 2022 JR 総連春闘を闘おう！！』をスローガンに、第 27 回定期地本委員会が、2 月 20 日大井町・中小企業センターにて開催されました。今回もコロナ感染防止のため参加者を限定し短時間でしたが、内容の濃い委員会となりました。



議長には東京車両所分会の長浜副委員長を選出し、議事が進められました。



主催者を代表して杉澤委員長は「54 歳原則出向反対の闘いで多くの成果を勝ち取った。淵上さんを東二運へ戻す。東一運ではユニオン組合員の脱退があった。JR東海は当期中間連結決算で純利益を赤字としたが、労働者に皺寄せは許さない。2022 JR 総連春闘を統一闘争として闘う」と挨拶しました。

来賓の本部本橋書記長から、この間の闘いの成果と春闘に対する中央本部の取り組みの方向性など、連帯の挨拶を受けました。地本 OB 会尾崎会長から、現役組合員の闘いを OB 会も共に支え取り組んでいくと連帯の挨拶を受けました。

質疑では、東京地区分会からは、東京駅での職場問題、トラサポの問題、東京車両所分会からは、診断書強要中労委不当命令を糾弾する、春闘の取り組み、東京運輸所分会からは、分会統合し闘っている、休業での出勤に関する問題、出向者の闘い、プライム会議からは、出向先との団交開催、各現場での環境改善の闘いなどの発言がありました。

これらの発言に対して、執行部および伊藤書記長の総括答弁で答え、当面する活動方針を満場一致で確認し、杉澤委員長の団結ガンバロウ三唱で委員会は成功裏に終了しました。